消防団用上下型防火衣仕様書

御所市消防団

１　概要

本仕様書は御所市（以下、当市という）の購入する消防団員用防火衣について定める。

この防火衣は、外衣と中衣の多層構造、特殊立体デザインのセパレート型とし、ISO11613 に準拠した性能を有するものであること。また一般社団法人　日本消防服装・装備協会（ＪＦＣＥ）の認定を受けた商品であり、指定のマークを縫い付けたものとする。

２　条件

（１）当防火衣の製作に要する費用は、当初に契約した落札額のとおりとし、追加支は一切認めない。

（２）使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。

（３）縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。

（４）製品の納入に際しては、サイズごとに仕分けを行い、まとめて納品すること。

（５）この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。

３　使用材料

（１）外衣生地

素材はメタ型アラミド及びパラ型アラミドとし、規格は下記の全ての項目を満たすものとする。

種　類　　テイジンエクスファイア®X27D20/X27D58
混　率　　メタ型アラミド 94%　パラ型アラミド 6%
色　相　　ネイビー/オレンジ
組　織　　2/1 綾織
　　生地はデニム調とする。
加　工　　撥水加工、撥油加工、帯電糸織込み

（２）中衣生地

素材はアラミド 100%の生地に PTFE 透湿防水膜をラミネートしたものとする。なお、規格は下記の全ての項目を満たすものとする。

品　名　　X29020 ゴアテックス®ラミネート品
種　類　　アラミド 100%で衣服内気候を考慮した構造（不織布不可）の生地に PTFE 透湿防水膜（ゴアテックス®）をラミネートしたもの。
組　織　　平織
透湿度　　600g/㎡・h 以上（JIS L 1099　B-2 法）

（３）補助材料

内袖口	アラミド 100%ニット
面ファスナー	幅 25 ㎜、38 ㎜及び 50 ㎜
目止めテープ	PTFE 製
反射材	ユニチカスパークライト ST-14N/75　赤橙（シルバー/レッド 75 ㎜） ＊1 軽量化・通気性向上の為、反射テープに穴あけ加工を施すこと。 ＊2 視認性向上、及び縫糸の擦り切れ防止の為、反射材上下両端に蓄光材を含んだシリコンのコーティングを施すこと。
ファスナー	YKK ファスナー
縫製糸	メタ型アラミド 100%　40 番 パラ型アラミド（フィラメント）30 番　反射テープ部分

４　縫製

（１）一般

ア．各部の縫い合せは良好であること。

イ．縫い飛び、縫い外れのないこと。

ウ．糸調子は優良で縫い曲がりのないこと。

エ．縫い飾り、地縫いの目数は 2.5 ㎝間に８針以上とする。

オ．縫い代は約１㎝とし、縫い始めと縫い終わりは返し針をし、ポケット及びベルト通しは閂止めをすること。

（２）上衣

Ⅰ）身頃

ア．左前身頃に幅 11 ㎝の前立付きとし、前立内側に面ファスナーメス及びファスナーを縫い付ける。

イ．前身頃のハギ脇合わせはオーバーロックの上地縫いし、片倒し飾り縫いとする。

ウ．右前身頃に面ファスナーオス及びファスナーを縫い付ける。

エ．左右前身・後身に縦ストライプ配色を施す。

オ．左前身にマイクハンガーを取り付ける。

カ．裾折り返し部は３ツ折りとし、中衣止面ファスナーを左右各２ヶ所に縫い付ける。

キ．前身頃胸部・後身頃背中・裾に反射布を縫い付ける。

ク．後見頃適宜の位置にシルバー反射素材にて「御所市消防団」と文字入れを行うこと。詳細は落札者と協議とする。

Ⅱ）襟

ア．表及び裏に表地共布を用いた一枚襟とし、芯地を入れ、地縫いの上飾り縫いとす

る。

イ．襟幅は中央部で約 12.5 ㎝とする。

ウ．襟付けは防水構造を用いた縫製とする

エ．襟の前部にはストラップが取り付けてあること。

オ．襟表中央に衿吊りとサイズマークを付ける。

Ⅲ）袖

ア．前身頃にセットインスリーブ、後身頃にラグランスリーブを用いた立体設計とする。

イ．袖は５枚ハギとし、縦ストライプを用いた配色を施す。

ウ．袖、身頃続きの脇ラインとし、腕の上げ下げが容易な設計とする。

エ．袖口にはアラミド素材のジャージと浸水防止用透湿防水層を縫い付ける。

オ．袖口より約１㎝上りに反射布を縫い付ける。

Ⅳ）ポケット

ア．左胸ポケットは縦約 14 ㎝、横約８㎝の三方風巾ポケットとし、二等分割の雨蓋付きとする。

イ．脇ポケット上部は約４㎝の傾斜を付けた斜めポケット、形状は三方風巾ポケットとし左右に縫い付け、配色生地を袋に用いた雨蓋付きとする。

ウ．雨蓋は面ファスナーを付け、地縫いの上飾り縫いとする。

エ．ポケット下部に水抜き穴を設ける。

Ⅴ）ベルト通し

ア．ベルト通しは前身頃・脇身頃と後身腰部中央の５ヶ所に縫い付ける。

イ．各ベルト通し上下部に閂止めを施す。

Ⅵ）肩当て

インナー肩部にフェルトを挟み込む。

Ⅶ）片布

左前身頃見返し部に片布を取り付ける。

Ⅷ）中衣

ア．透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いしシームテープで目止めをする。

イ．中衣は見返し、袖口にて外衣と縫い合わせる。

ウ．裾折り返しはシームテープにて目止めを施す。

（３）ズボン

Ⅰ）身頃

ア．内股部・脇部に運動性を良くする為に縦ストライプを用いた立体設計とする。

イ．脇縫い・内股縫い・尻縫いは裁ち目にオーバーロックを掛け地縫いし、片倒しして飾り縫いをする。

Ⅱ）前立て

前立てはファスナーと面ファスナーの併用仕立てとし押しホックで止める。

Ⅲ）膝部

膝部に補強布を縫い付ける。

Ⅳ）腰部

ア．ベルト通しを６本縫い付け、右前ベルト通し下にサイズマークを挟み縫いする。

イ．ベルト幅は約 38 ㎜とし、腰の両側で確実に締められる構造であること。

ウ．ベルトが抜けないように先金（樹脂製）付きとする。

エ．締め付けた後に緩まないようにフリー面ファスナーで固定できる構造であること。

Ⅴ）裾

ア．両裾から約 10 ㎝上の位置に、反射テープを縫い付ける。

イ．裾口脇側に開閉ファスナーを取り付ける。

ウ．裾口に絞り用フラップを取り付ける。

エ．中衣固定のため、面ファスナーを左右各４ヶ所縫い付けること。

Ⅵ）中衣

ア．透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いしシームテープで目止めをする。

イ．裾はフラシ仕様とし裾口は透湿防水層を２枚縫い合わせバイヤステープにて始末する。

ウ．裾折り返しはシームテープにて目止めを施す。

エ．左身頃上部に取り扱い表示・片布・サイズマークを取り付ける。

（４）ベルト

ア．ベルトは二重平織りのナイロン製とし幅 50 ㎜とする。

イ．ベルト両端には視認性確保のため、反射加工を施すこと。

イ．バックルはポリアセタール樹脂製とし耐衝撃性のあるものであること。

ウ．バックルはワンタッチにて着脱可能なものとし、バックル中央に消防団徽章を施したものとする。

エ．形状は別図の通りとし、色相は紺色とする。

５　寸法表

上衣

サイズ	着丈	裄丈	胸囲	裾回
M	75	82	120	114
L	78	85	124	118
LL	81	88	130	124
LLL	84	91	136	130

（単位：㎝）

ズボン

サイズ	ウエスト	股上	渡り	裾巾
M	91	30.5	38.5	21.5
L	95	31.5	40	22.5
LL	101	32.5	41.5	23.5
LLL	107	33.5	43.5	24.5

股下は 70 ㎝を基本し 5cm ピッチとする。　　（単位：㎝）

６　発注枚数　　防火衣上下（各 10 着）・ベルト（10 本）

７　納入期限　　令和９年３月３１日

８　納入場所　　御所市役所危機管理課

９　附則

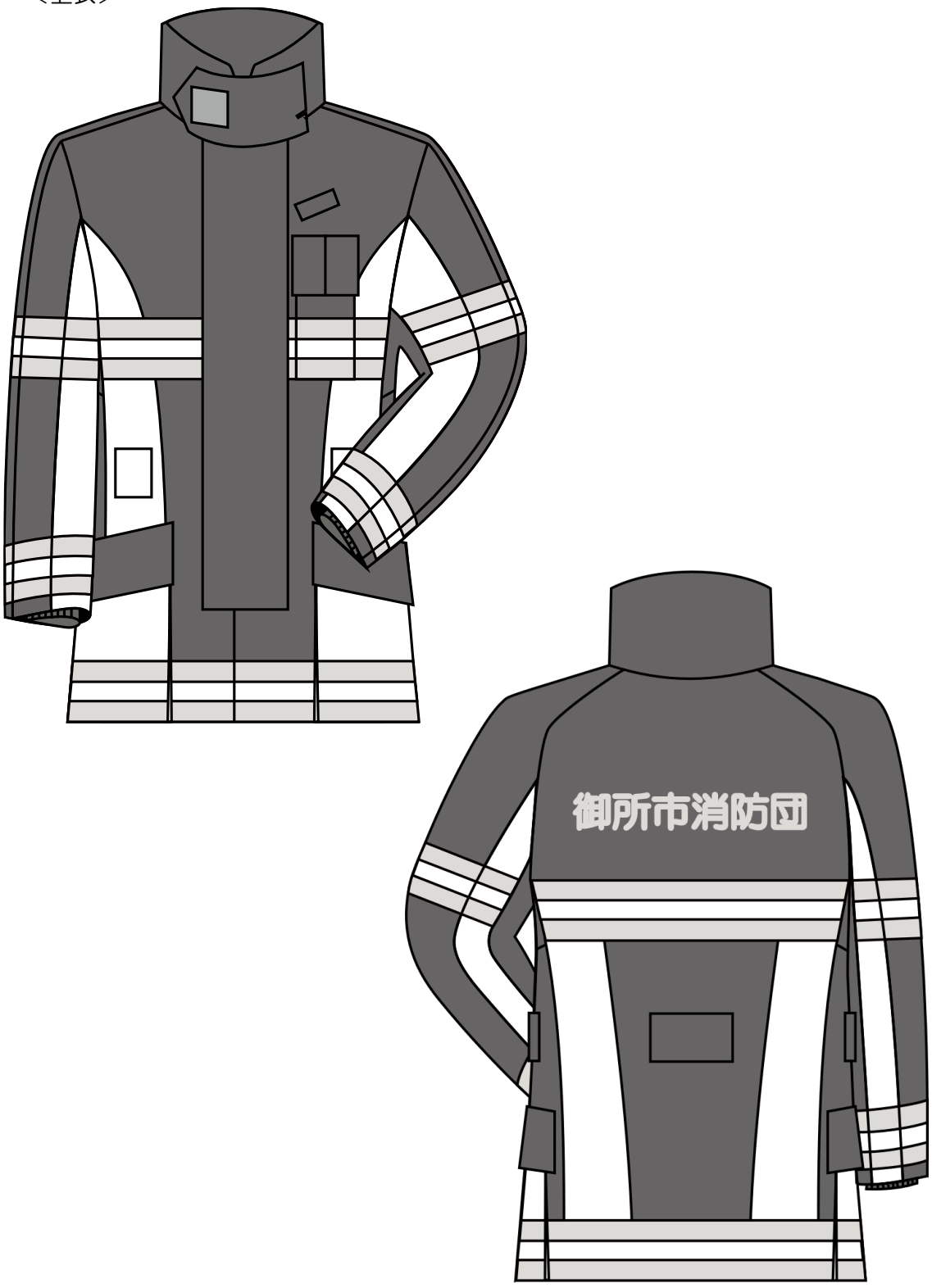
（１）使用する表生地、中衣生地(透湿防水層)及び目止めテープに関して、必要に応じ見本及びメーカーの品質証明書、出荷引受書を提出すること。

（２）落札者は一般社団法人日本消防服装・装備協会（JFCE）の認定書を提出すること（写し可）

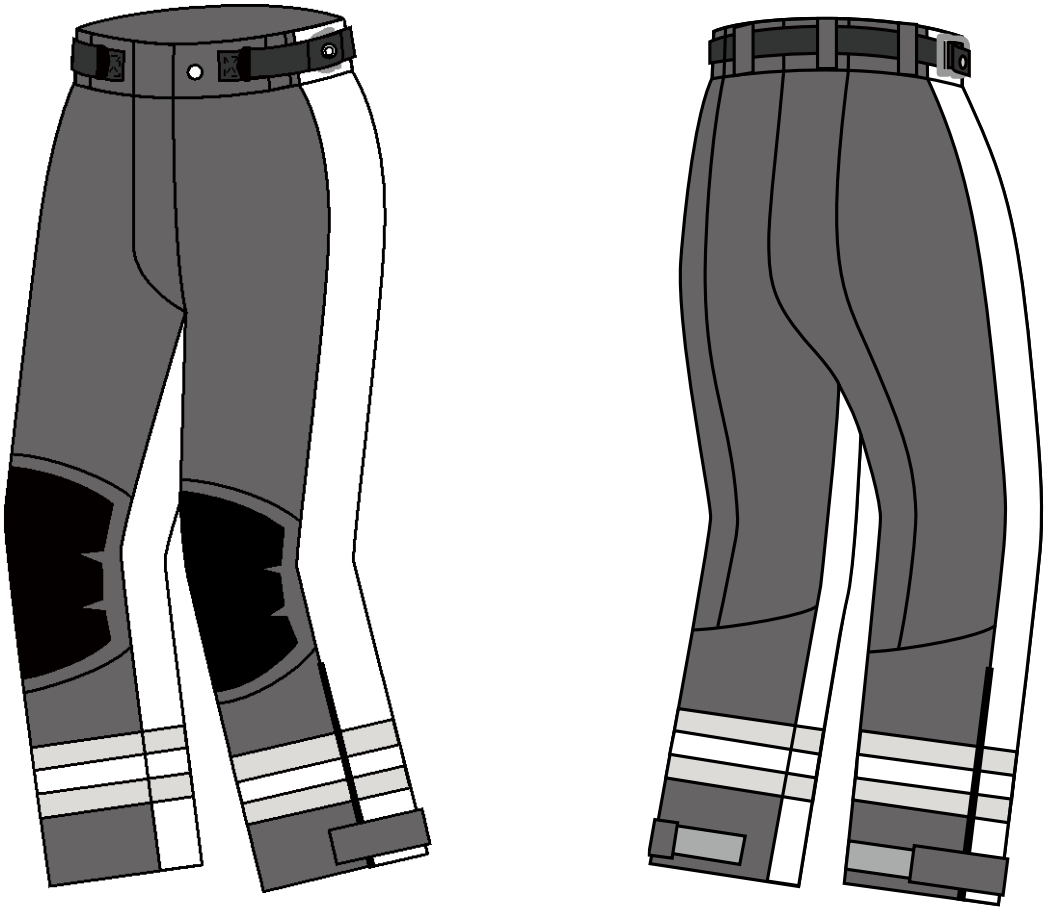
（３）仕様書に記載がない部分については担当課と打ち合せるものとする。

概要図

＜上衣＞



＜ズボン＞



〈ベルト＞

